平成 30 年度 第 2 回 教育課程編成委員会 議事録

- 1 日時 平成31年3月4日(月曜日)13時10分
- 2 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
- 3 出席者 小林健一 (つつじの園施設長) 森保博子 (飯能市基幹型包括支援センター管理者) 平澤淳校長 笹岡勉教頭 星野成美介護福祉学科長 高松浩之介護福学科教務主任 岡村忠彦教務部長 関根浩学務部長

4 校長挨拶

介護福祉学科募集が伸び悩んでいる現状ではあるが、入学生を確保することが最大の課題である。平成8年の開設から今まで、良い人材を輩出することを目標としてきた。改正により卒業と同時に介護福祉士が得られなくなってから2年、1月の国家試験を受験した2年生達の自己採点によると全員合格までは厳しいとの結果になっている。平成31年度より、留学生を受け入れることになった。介護福祉学科は、平成31年度より職業実践専門課程の認定を只今申請中である。

5 第1回議事録の確認

特になし

- 6 介護福祉学科
 - ① 平成 30 年度国家試験自己採点状況 受験者数 16 名 12 名合格見込<75%>
 - ② 国家試験対策として放課後を利用した補講授業を実施していた。
- 7 学籍及び就職状況
 - ① 退学者1名(平成29年度6名) 昨年より5名減
 - ② 就職状況…16 名中 15 名が内定

内訳:特養11名・老健2名・居宅1名・有料1名・未決定1名 例年と比較すると平成30年度の就職活動は、全体的に早い動きであった。

8 平成31年度教育課程

特になし。

- 10 平成31年度入学予定者について
 - 3月4日現在、今年度の入学生は、介護福祉学科26名・柔道整復学科17名・合計43名。介護福祉学科の内訳として、内部進学者7名・その他現役生7名・委託訓練生5名・留学生7名となっている。今後、留学生が4~6名の追加が予想される。よって、30~32名になる予定である。入学決定している留学生の出身国は、ベトナム4名・インドネシア1名・中国2名であり、各自が日本語検定2・3級を取得している。

- 11 教育課程編成に係る課題と方策等の意見交換(各委員より)
 - ・市内精明地区で行われた「ひとり歩きやさしい声かけ訓練」に教員と1年生が参加していただき、地域の方々に専門的な知識を持った教員や学生がアドバイス等をしていただき、地域の方々も分かり易かったと思います。ありがとうございました。また、平成31年度も本郷・富士見・精明地区で実施予定。出来る範囲で、飯能市から依頼させていただきます。
 - ・バラエティ富んだ授業で学生は楽しいと思う。特に納棺体験など。
 - ・秋草学園等に留学生に対する授業等を見学させていただいてはいるが、実際に当校で 入学してきたらと思うと、どんな授業をしたらいいのかイメージがまだ湧かない。留 学生とコミュニケーションをとったとしても、イメージ通りにはいかないと思われる。 波に乗るまで大変であろう。
 - ・留学生については、想定出来ないトラブル等が発生すると思われるので柔道整復学科 も協力しなければならなくなると思われる。
 - ・現在、つつじの園では、ネパール 1 名・フィリピン 2 名・中国 1 名が非常勤として 勤務している(日本での生活水準は良い。)。過去には、1~1 カ月半で帰国してしまう 外国の方がいた。また、インドネシアの方は、食べ物にも、こちら側が気を付けて理 解しないといけない部分でもある。ただ、こちらが思っているほど、現場の従業員は、 抵抗感が無かった。大川学園として実績をつくっていって欲しい。
 - ・飯能市の訪問介護事業所では、中国の方がいるが、非常に真面目で、目上の方には絶対だった。
 - ・何か留学生でイベントをする事が出来れば、楽しみを見付けることが出来るので、飽きないで帰国しないと思う。ネットワークの構築という点から言えば、例えば、つつじの園の先輩などと交流し、日常生活等のルールやお話等、お互いに話せる場を設けると良いのではないか。
 - ・飯能市内地域で留学生のイベントを開催すると良いのではないか。例えば、美杉台地 区などは、色々な発信が盛んであり、あたたかい目で見守ってくれると思う。
 - ・埼玉県就学資金を借りる際に、保証人が就職先である法人でも問題が無くなった。また、31・32年度に入学してくる学生については、就業5年間の特例措置が認められるため、まだまだ、留学生は増える傾向にある。
 - ・教育課程編成委員会の委員の方には、ぜひ、授業を見学しに来ていただきたい。
 - ・教職員ブログで色々と発信していきたい。
- 12 次回開催予定 令和元年5月21日(火曜日)13時10分 2階会議室